

2023年07月10日

課題名：機械学習による血管内治療術前灌流画像の特徴量と臨床転帰の予測に関する研究

◆研究の目的と概要◆

脳の主幹動脈の閉塞を伴う脳梗塞に対してカテーテルを用いた機械的脳血栓回収術を受けた患者さんについて、術前の灌流 CT を元にした深層学習モデルから術後の神経予後を予測することが可能かどうか検討する目的です。

◆対象となる患者さん◆

2018年1月から2023年6月までの間に、急性期脳梗塞に対する機械的脳血栓回収術を施行された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、既往歴、現病歴、身長、体重、人種、手術記録、入退院時mRS
治療時間経過（最終健常確認、発症、来院、CT 撮像、tPA 投与、穿刺、再開通）
各種画像検査のデータ（造影CT、カテーテル検査、MRI、CT）

◆情報の研究利用開始日◆

2022年7月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去のカルテ等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

脳神経外科 研究責任者 金子 亮介

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明